

すぎた やすひろ
杉田 策弘さん 44



交流で地域に価値

浜松市内で二カ所のコワーキングスペース（共用オフィス）を運営する「デクシィ」（同市東区）の社長。「この地域をもっと自由に働ける環境にしていきたい」とさらなる店舗展開を思い描く。

大学卒業後は東京で働いていたが、オフィス家具販売を

おはよう

手掛ける父が病気になり、二〇〇六年に帰郷した。「浜松で家具を売るといってもパイが小さい。貧乏くじを引いた」。当時は後ろ向きだった。

一二年に「少しでも家賃を浮かせたい」と店舗の一部を共用オフィスにしたのが転機となった。徐々に利用客が増え、交流が生まれる。利用する起業家たちの苦勞に触れ、「二代目の自分はすごく恵まれている」と認識も改めた。

客の要望に応じて改装すること七回。「今では地域になってはならない場所になっている」と胸を張る。「新型コロンナで人が集まることの価値は高まっている。そういう場所をつくる会社でありたい」。同市中区。（高橋雅人）